

《担当者名》 小林 正伸(兼任) mkobaya@hoku-iryo-u.ac.jp 倉橋 昌司(非) 加藤 幸紀(歯) 西 基
濱田 淳一 守田 玲奈

【概要】

科学としての医学の成立過程、生命の成り立ち、病気の成り立ち、口腔の健康、内科学から見た疾病、医療倫理、生命倫理、医療過誤、医療経済、ターミナルケアなど、医療・医学のベースとなる課題を学ぶ。

【学修目標】

医療従事者を目指すものとして、医学・医療の現状と課題を理解するために、科学としての医学の成り立ちと歴史、現在医療が求められているもの、医療現場で問題となる事象を学習して、これに対応できる力を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医学とは何か	医学を学ぶ意味	小林・守田
2	ボランティア論	ボランティアとは何か？	中梶慎太郎(特別講師)・守田
3	ボランティア活動の実際	実際のボランティア活動についての学習	中梶慎太郎(特別講師)・守田
4	生命の成り立ち	生物進化と生老病死	倉橋
5	生命の成り立ち	進化医学、文明と疾患	倉橋
6	生命の成り立ち III	DOHaD (Developmental Origins of Health and Disease) という考え方	濱田
7	生命の成り立ち IV	ゲノム編集：ヒトの設計図を書き換える	濱田
8	歯科学について	全身と歯周病との関連	加藤
9	歯科学について	口腔ケア	加藤
10	医療過誤	ワクチン接種によるB型肝炎ウイルス感染	小田嶋真悟(特別講師)・守田
11	医療現場での倫理	ハンセン病について	井上昌和(特別講師)・守田
12	医療現場での倫理	薬害被害について	井上昌和(特別講師)・守田
13	医療事故、医療過誤	医療の社会的問題点(コ・メディカル用語事典を教科書として使用)	西
14	医療経済など	医療と経済(コ・メディカル用語事典を教科書として使用)	西
15	ターミナルケアと癒し	終末期医療と癒しについて	小林・守田

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート(100%)

講義の中から一つを選び、1200字程度で講義の感想や講義を受けて考えたことなどをまとめる。

【教科書】

コ・メディカル用語事典 OD版(第7版)・西 基・海馬書房(看護学科は2学年の公衆衛生学・疫学・小児病態論でも使用)

【学修の準備】

今回の授業範囲を見て専門用語の意味等をインターネットなどで確認して理解しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1,2,4

【実務経験】

小林正伸（医師）、加藤幸紀（歯科医師）、西 基(社会医学系指導医、日本公衆衛生学会認定公衆衛生専門家)、守田玲奈（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

病院での医師としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。

病院での歯科医師としての実務経験を活かして、実践的教育を行う。

社会医学系指導医、日本公衆衛生学会認定公衆衛生専門家としての実務経験を活かして、実践的教育を行う。